

暫定議題
戦略・漁業管理作業部会（SFMWG）会合
2023年7月25－28日
東京、日本

1. 開会

- 1.1. 歓迎の辞
- 1.2. 議長の確認
- 1.3. 参加者の紹介
- 1.4. 議題の採択

2. CCSBT 戦略計画のレビュー及びアップデート

2021年CCSBTパフォーマンス・レビュー付託事項では、パフォーマンス・レビュー勧告の検討及びフォローアップのプロセスが明示されており、当該プロセスには、ECによる検討に向けて、実施計画の作成作業をSFMWGがリードすることが含まれている。既存の戦略計画は2014年パフォーマンス・レビュー勧告を実施するための基礎となったが、既に失効している。こうした過去のアプローチを踏襲し、メンバーには、既存の戦略計画をレビューし全てのセクション（今後5年間における優先順位の評価を含む）をアップデートすることが求められている。

2.1. 序文及びみなみまぐろ漁業に関する記載

序文は厳密な事実のみに基づくセクションであり、外部の読者に対して必要な文脈を提示することを目的としている。事務局は、旧戦略計画終了後の進捗状況及び変化を反映した修正案を提出する予定である。漁業の特徴セクションについても、最新の資源状況を反映する形で更新する。メンバーは提案された修正案について検討するよう要請されている。

2.2. 戦略課題及び主要課題

メンバーは、2015－2020年戦略計画において特定された戦略課題及び主要課題について検討及び更新することが要請されている。このレビューの一環として、メンバーはSWOT解析の再実施を求める可能性がある。

2.3. 目的、ビジョン、ゴール及び優先順位

本副議題項目では、戦略計画改定案における目的、ビジョン、ゴール及び優先順位について検討及びレビューする機会を提供する。

2.4. 戦略計画のゴールを達成するための戦略

以前の戦略計画では、本セクションにおいて戦略計画のゴールを達成するために適用されるべき戦略が検討されていた。メンバーは、本セクションの更新、及び／又は本セクションを実施計画の一環として作成される内容と置き換えることの検討を求める可能性がある。

2.5. CCSBT 戦略計画を実施するための5年間の行動計画

本副議題項目では、戦略計画の実施のためのプロセス及び暫定的なスケジュール（補助機関に対して要求する活動を含む）について検討及び勧告する。CCSBT 29での議論において、実施計画案は今次SFMWG会合において作成されること、及びオーストラリアがボランティアとして当該作業の調整をリードすることが確認されている。

3. その他の事項

3.1. 日本による市場提案

CCSBT 29 において、日本は休会期間中の 2023 年 5 月又は 6 月頃に詳細な市場提案を提出する用意があり、メンバーの見解次第では、必要に応じて事務局とも協力しつつ、EC 30 において進捗状況を報告するべく日本市場に関する調査に着手する予定であることを述べた。メンバーは日本による市場提案の検討を求める可能性がある。

4. 閉会

4.1. 報告書の採択

4.2. 閉会